



兼統の菩提寺 徳昌寺

曹洞宗の徳昌寺は、直江兼統の菩提寺です。境内にはケヤキなどの巨木が林立し、静寂なたたずまいのお寺です。ここでは、直江家四代（親綱・景綱・信綱・兼統）の位牌が発見されました。同寺では兼統をしのいで新たに夫妻（兼統・お船）の位牌を作成し、弔っています。

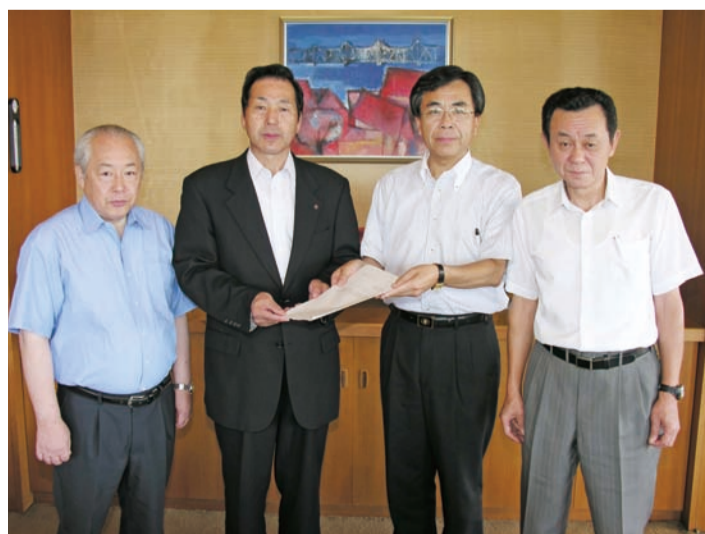


中間報告を議長に提出

— 議会活性化検討委員会 —

長岡市議会では、今年の2月6日に市議会活性化委員会を立ち上げて以来、よりよい議会や市民にとってわかりやすい議会を目指して、活発な議論を重ねてきました。

第10回委員会までは、主に一般質問の方式や方法について見直しを行い、第11回委員会では、これまで各委員から出されたさまざまな意見を第一次答申として集約しました。答申には、演壇とは別に新たに



質問席を設けることや、新しい議場の形態についての要望などが盛り込まれ、8月27日に小熊委員長から五井議長に提出されました。

左から山田副議長、五井議長、
小熊委員長、小坂井副委員長

答申の主な内容

主に以下の事項を要望しました。

■ 新しい議場には質問席を

- ・市長など執行部に対面して質問ができる質問席を設けること
- ・最初の質問は演壇で行い、再質問と再々質問は質問席から行うこと

■ 傍聴者に配慮し、活発な議論ができる議会施設に

- ・新しい議場の形態は、議長や演壇から議員だけでなく、執行部も含めた出席者全員を見渡せるように、すり鉢状にすること
- ・傍聴席は、傍聴しやすいように高さに配慮し、市民が気軽に入れるようにすること
- ・委員会室は、可能な限り方形に近い形態とし、傍聴席を増やすこと

■ その他

代表質問制

一般質問に先立って、会派の代表者が市政について質問をする代表質問制は、導入しないこと

質疑

本会議での質疑は、これまでどおり同一議題について3回までとすること



古川原 直人 議員 (2期・市民クラブ)

寺泊地域の 海岸の保全と管理について

問 現在、寺泊地域の海岸保全は、一面やぶの様相である。観光地寺泊のイメージアップのためにも、国道402号線沿いの保安林の間伐と雑木草の下刈りを行い、散策路を設けるなどして管理に力を注いでほしいが、市の見解は。

答 国道を管理する県では、昨年度と今年度とも、寺泊地区2・5号、野積地区1・6号の下草刈りを実施している。しかし、寺泊文化センター付近では、管理が行き届いていない状況が見

受けられる。今後も健全な黒松林の維持管理のため、県に下草刈りや間伐の計画的な実施を要望していきたい。また、散策路は、寺泊地内の防災林に隣接する寺泊夕日の森において今後、整備を検討していきたい。

問 寺泊港は、北側に第2防砂堤を築いてから潮の流れが変わり、河口付近の海岸が浸食され、浜茶屋の前に広大な砂浜が生じた。市は、この新たに生じた土地の確認行為を行うべきと考え

答 土地の確認は、法の遵守という点からも行うべきだと考えている。しかし、その時期は、単に土地が生じた時点ではなく、護岸の必要性や土地の利用方法を総合的に検討した上で考えていきたい。

その他の質問 長期化する原油高騰対策について

協働の力を発揮した道路美化に市内全域で取り組んではどうか。

答 市では、通行上支障がある所や景観上問題がある所を中心に除草を行っている。しかし、市道だけでも3400㎡以上あり、行政の力だけで道路の除草を行うのは、経費面も含めて非常に難しい。このため、「自分たちのまちの道は自分たちできれいにしよう」という考え方は、今後の道路美化を考える上で、大変重要だと考えている。本市には、花いっぱい運動に取り組んでいる地域の町内会や老人会を中心とした緑化推進団体が数多くあるので、こうした団体と協力して、小国地域のように、市民力を活用した道路美化を進めていければと考えている。

その他の質問 スポーツ力による長岡市の活性化について

周辺地域における諸問題について



長谷川 一夫 議員 (2期・市民クラブ)

市民協働力による 道路美化の推進について

問 来年は「天人」放映やトキめき新潟国体の開催により、全国から大勢の観光客や大会関係者が本市を訪れると予想される。これらの訪問者をおもてなしの心で迎えるための一つとして、手入れの行き届いた道路が重要である。しかし、市内には、ススキや雑草に覆われ、車道と歩道の区別がつかない道路が各地で見られる。一方、小国地域のサルビアロードをはじめ、栃尾地域などでは美しい花が植えられた道路が地域の力で手入れされている。こうした

受ける。今後も健全な黒松林の維持管理のため、県に下草刈りや間伐の計画的な実施を要望していきたい。また、散策路は、寺泊地内の防災林に隣接する寺泊夕日の森において今後、整備を検討していきたい。

市内には現行の公共交通でカバーできない場所が多数存在する。こうした交通空白地域では、住民主体で交通の運営を行うことが公共交通基本計画の中で検討されている。行政は、地域からの要望に対して、積極的にコーディネートしなければならぬと思うが、どのように対応していくのか。



中村 耕一 議員 (1期・公明党)

デマンドタクシーの 導入について

問 市内には現行の公共交通でカバーできない場所が多数存在する。こうした交通空白地域では、住民主体で交通の運営を行うことが公共交通基本計画の中で検討されている。行政は、地域からの要望に対して、積極的にコーディネートしなければならぬと思うが、どのように対応していくのか。

答 住民主体で運営をするにしても、情報や経験がなければ難しい。地域から相談があれば、積極的に情報提供を行うと

もに、地域と一緒に具体的な検討や調整を行ってきたい。

問 福島県南相馬市小高区で戸口送迎を行う乗り合いタクシー、「デマンドタクシー」が地域の足として活躍している。本市も民間と連携し、デマンドタクシーの導入を推進してはどうか。

答 随時運行するデマンド方式は、需要の少ない地域において、効率的に生活交通を確保する有効な方法である。山古志、太田地区のクローバーバスは、一部の時間帯でこの方式を導入した。今後、相談があれば、民間団体などと連携したデマンドタクシーなどの情報を積極的に提供し、地域と一緒に検討や調整を行っていきたい。

その他の質問 情報格差解消のための対策について

一定期間の激変緩和措置を譲渡する事業者に要請したい。

問 市は民間へ事業譲渡する際には、ガス工事は地元工事業業者への優先発注を要請するとしているが、資材調達等についても地元優先にすることを要請してもらいたい。市の見解は。

答 民間譲渡に当たっては、地域貢献や地場産業の活性化を図るためにも、市が指定するガス工事業業者を引き続き指定工事店として認定すること、工事の発注に関しては、地元ガス工事業業者および市の入札参加資格のある事業者を優先的に発注すること、資材調達等についても従来の取引関係を継続し、地元優先とすることを要請したい。

その他の質問 公契約法・条例の制定と契約時の指導強化について

中小企業振興基本条例制定と地場産業振興について



長谷川 一作 議員 (2期・市民クラブ)

守門岳から日本海、 自然環境を生かした 地域振興策について

問 ルート290とちお道の駅の対岸に整備予定の「子ども夢ひろば」の今後の整備方針について市の見解は。

答 子ども夢ひろばでは、子どもたちが自然や動植物と触れ合うことで、情操を育む施設になることを望んでいる。そのため、施設整備に加えて、地域に密着した運営ができるようNPO法人を活用するなど、ソフト面も含めた整備計画が必要だと考えており、来年度予算に向けて検討

してきたい。

問 来年は「天人」放映に伴い、全国から大勢の観光客が予想される。観光戦略のためにも、直江兼統の与板城、長尾景虎(後の上杉謙信)の栃尾城、虎御前(景虎の母)の栖吉城とが連携することが必要だと考える。

栃尾地域では、平成19年度より5カ年計画で「謙信の里づくり事業」が進められており、事業の確実な実施を望んでいるが、今後の整備方針について市の見解は。

答 主要事業のうち、城山遊園は、本年度中に駐車場を整備する予定で、金沢平堤防線は現在、測量や設計を実施し、一部工事に着手している。各事業は順調に展開されていると認識しているが、今後も地域と連携して整備を進めていきたい。



細井 良雄 議員 (1期・共産党市議団)

長岡市立養護学校について

問 障害児教育は、お金がかかって子どもも自立に役立つだけでなく、地域社会にも大きく寄与する事業である。養護学校の中学部では、年々生徒が増加しているが、その理由をどうとらえているか。

答 増加の背景には、障害の重度化が進んでいること、子どもへの自立活動を促す教育課程が、子どもと親のニーズに沿っているものにとらえている。

高等部では生徒が急増しており、市による施設整備も一部進められているが、早急

に抜本的な施設整備が必要であると思うが、市の見解は。

答 高等部の校舎不足は、緊急の課題である。これまでプレハブ校舎を建設したほか、作業室の一部を普通教室に転用し対応してきた。しかし、今後の増加を考えた場合、平成23年度には転用だけでは対応できない見込みである。現在、県において、本市に特別支援学校の整備予定はないため、本市では、関係各課と養護学校による整備検討ワーキングを設置し、対応の検討を始めたところであるが、この機会に施設整備だけでなく、教育課程の見直しも含めた検討を予定している。

なお、校舎不足の対応については、小・中学部と一体的な教育のためにも、現在地での対応を検討していきたい。

その他の質問 おぐに森林公園について



議員 関 充夫 (1期・市民クラブ)

長岡市の子育て・学校教育について

市は発達障害児への対応や支援にさまざまな施策を打ち出しており、学校職員も研修等によりスキルアップが図られている。しかし、発達障害に対する保護者や地域の理解はなかなか進んでいないが、この遅れ解消について市の見解は。

障害のある子どもが自立し、社会参加をしていく上で、保護者や地域住民が発達障害について正しい理解を深めることは最も根本的で重要なことである。現在、保護者には、PTA総会や

学校だよりで特別支援教育や発達障害について紹介するなどの取り組みを行っている。また、地域では、各中学校区で保護者や地域住民を対象に開催しているフォーラムにおいて、発達障害をテーマとした講演会の開催をした地区もある。今後、この地域連携フォーラムをさらに活用していきたい。

障害のある子どもを持つ親は、仕事と育児で疲れやすい状況にあり、精神的負担を軽減させることが必要である。保護者に対する支援の考えはあるか。

各中学校に配置されている特別支援教育の推進コーディネーターが、保護者の相談にも十分対応しているほか、教育センターや家庭児童相談室でもさまざまな相談に応じている。今後も引き続き保護者の心情を理解し、寄り添いながら継続的に支援していきたい。



議員 笠井 則雄 (3期・共産党市議団)

市役所移転など大規模な中心市街地開発と合併地域との均衡ある発展について

大黒ビル前の横断歩道は、長岡駅からシティホールをつなぐペDESTリアンデッキが整備されても、廃止すべきではないと思うが、市の見解は。

城内通りの混雑原因の一つには、歩車分離信号があるので、交通渋滞の軽減を図るため、横断歩道の廃止を警察と協議している。しかし、地元関係者からは、歩行者の利便性や商店街のにぎわいを考えると、横断歩道は残してほしいという意見も出てい

るので、今後の長岡の将来を考えながら検討していきたい。中心市街地に400億円近い集中投資が行われる一方、合併地域のリーディングプロジェクトのうち、ハード事業はほとんど未着手である。中心市街地と合併地域の発展は両立できるのか。

中心市街地の活性化は、平成16年3月の長岡市中心市街地構造改革会議の提言によるもので、旧長岡市が借金を大幅に減らし、基金を積み立てるなど、十分時間をかけて準備してきたものである。なお、合併地域ではリーディングプロジェクト以外に

も中之島、寺泊地域の公共下水道や小国地域のケーブルテレビ施設などの整備を、地元要望を前倒しして実施している。従って、中心市街地の投資によって合併地域の発展が遅れることはない。●その他の質問

●雇用促進住宅廃止問題について



議員 水科 三郎 (2期・新政クラブ)

放課後児童健全育成事業について

児童クラブは年度途中の入会が難しいとのことだが市の見解は。また、建設当初、児童クラブの併設が想定されなかった上川西コミュニティセンターのように、定員の倍以上のクラブ員がいるコミュニティセンターでは活動スペースが不足し、コミュニティ活動に支障を来している。こうしたコミュニティセンターに対しては、増築等を行い対応すべきではないか。

現在、年度当初でほとんどどの児童クラブが定員を超

過している。クラブによっては、年度途中の入会を認めているところもあるが、子どもたちの情緒の安定や事故防止の点から入会を断らざるを得ない場合もある。また、1クラブ当たりの登録児童数が一定規模以上になった場合には、クラブを分割することで活動場所を増設するなど、適正規模への転換についても地域の方の声を聞きながら検討を進めている。

専任児童厚生員の人材確保が難しいと聞いている。時給換算で600円余りという報酬の低さも一つの要因ではないか。

児童厚生員には、子どもが見守りだけでなく、集団活動のサポートや家庭との連携など、多様な役割を担ってもらっている。それが十分に発揮できる環境づくりは大変重要である。待遇改善についても今後十分に検討していきたい。



議員 家老 洋 (3期・新政クラブ)

生活に密着した土木行政の推進について

請願道路は要望を受け付ける際に条件があるのか。また受け付け後、道路完成までのスケジュールおよび要望者への対応はどのように行っているのか。

受け付けの要件は、地元町内会を通じた要望であること、市道の認定基準に合致していること、地権者および関係者の同意が得られ、かつ地元の協力を制が整っていること、3点である。道路改良は、完成までおおむね5年程度を要するが、要望件数が多いことから、事業着手までに数年

かかることもある。要望者には、要望を受ける時点で大まかなスケジュールを説明し、随時、事業着手の見通しなどについて、町内会長を通じて連絡した中で、地元との調整を図っている。

長岡の今後10年間の姿を決める都市計画マスタープランの地域懇談会では、住民から道路や水路の新設、改修などの要望が多く出されている。地元や市民の要望を早期に実現させるための方策について市の見解は。

生活道路や水路などは、総合計画の基本計画には、「身近な生活道路の整備」を掲げており、具体的な事業計画も盛り込んでいる。事業は着実に推進することを図っているが、適宜出てくる要望にも柔軟に対応していく必要があると考えている。要望が地元住民の総意となった事業については、できるだけ早く取り組んでいきたい。



議員 加藤 一康 (4期・民成クラブ)

商店街アーケードの修繕等に対する支援策について

大手通りの十字路周辺のアーケードは、設置以降10年から20年が経過し、老朽化による修繕は避けて通れない。しかし、商店街では、組合員数の減少などにより、修繕費用の捻出が困難になっている。この現状について市の見解は。

市では現在、商業団体などは改修する際に、その費用の30%を補助している。しかし、商店街では、組合員の経営状況の悪化などにより、費用負担の合意形成が

難しくなっており、アーケードの維持管理には苦労していると認識している。魅力ある中心商店街を維持、形成していくためには、シティホールなどの整備と同時にアーケードの適切な修繕があつてい

しなくてはならない。アーケードは住民の利便性という点からも大きな役割を果たしている。アーケードの維持修繕に対して、補助率のアップなどさらなる支援策が必要と思うが、市の対応は。

中心市街地商店街のアーケードは、大変公共性の高い施設である。市では、アーケードの修繕などが今後円滑に進むよう、商店街の方と協議しながら、補助率や補助対象事業の見直しなどを前向きに検討していきたい。●その他の質問

●子どもたちを取り巻くスポーツ環境の整備について



議員 杵淵 俊久 (1期・しんしクラブ)

バイオマスタウン構想の策定について

国が進めているバイオマスタウンに指定されると、その構想の実現に向け、バイオマスの環境づくり交付金の優先的な支援が受けられる。県内では、8つの市と町がバイオマスタウンとして公表されている。本市では、平成11年度から産学官連携の下、下水汚泥の処理工程で発生するガスを都市ガスとして活用しているほか、市内のNPO法人や企業による食品残渣の飼料化や廃食油のバイオディーゼル燃料化などさまざまな取り組みが進んでいる。農山

漁村の活性化や、戦略的産業を育成するためにも、できるだけ早期にバイオマスタウン構想を策定すべきだと考えるが、市の見解は。

本市のこれまでの取り組みは、他の自治体ものみに決しておらず、下水汚泥のガスは実際に販売されている。また、現在、計画中の生ごみバイオマス化事業は、実現すれば全国でも最大規模のものとなる。そして、菜の花プロジェクトは、家庭や事業系の廃食油を利用したバイオディーゼル燃料の製造と、利活用という地域資源循環システムづくりを行うプロジェクトである。一方、民間事業者や市民団体、NPO法人などでも、いくつか事業化を検討していると聞いている。そうした団体による主体的な取り組みを支援するという観点も重要なので、来年度中の計画策定に向けて準備を進めている。

一般質問の詳細は、11月下旬発行予定の会議録(市役所議会図書室、各支所、市民情報ラウンジ、情報公開コーナー、市民センター、市内図書館等に配置)またはホームページ上の会議録検索システムをご覧ください。

※ バイオマスタウン……動植物から生まれた再生可能な有機物資源であるバイオマスを利活用する仕組みを、地域の関係者が連携して構築し、安定的かつ適正な利活用が行われている、もしくは今後行われる見込みの地域のこと。



山田 省吾 議員
(1期・しんしクラブ)

■雨水対策について

問 近年、長岡市でも局地的な集中豪雨が増えているため、道路や宅地が恒常的に浸水する箇所は調査を行い、抜本的な解決策や緊急的な対応策を検討すべきと考えるが、市の見解は。

答 恒常的に浸水被害が出てくる箇所については、これまで浸水原因などの把握に努めてきたが、よりきめ細かな情報収集と状況把握が必要と考えている。収集した情報を基に、緊急性の高い所から順次、河川や道路の局部改良、下水道整備などにより対応していきたい。

■今後の局地的な豪雨が想定されるが、被害を軽減させるためには、市が管理する河川の改修と並行して行うことになるが、市が管理する河川の中には、少し手を加えることで改善される場所もあるように思われる。市の見解は。

答 ゲリラ豪雨に対応した浸水対策には、排水施設の整備だけでは限界があり、地域全体で雨水の貯留や浸透など、流出抑制による雨に強いまちづくりを推進することも重要と考えている。河川改修については、今後も国や県などの関係機関に要望を行うとともに、市の管理する地元の河川も計画的に改修整備を進めていきたい。

●その他の質問
・里山地域の振興について



西澤 信勝 議員
(2期・無所属の会)

■シティホール整備について

問 シティホールの配置は、北と西で隣接するマンションとの間隔が狭くなっている。隣者説明会では、多くの住民から日照や火災、屋上機械類の騒音や屋上の反射熱といった問題が心配事項として挙げられた。市では、今後何らかの説明会を開催したいとのことだが、近隣住民の要望にどういった姿勢で臨んでいくのか。

答 あれだけ大規模な建物を建てるには、心配や懸念について何回も話し合いをすることが、よりよい建物をつくるに当たって当然必要なことである。将来、

市民が誇りを持てるシティホールにするためには、立派な設計だけでなく、懸念を払拭することも大変重要である。解決策には、計画段階で対応するものや維持管理で対応するものなど、さまざまなやり方があるが、設計者には、住民の気持ちを正確に伝え、解決策を考えてもらうようにする。今後も隣接住民と協議する中で、必要に応じて随時説明会を開催していきたい。

問 シティホールの敷地と周辺建物との間にできる通路は幅が狭く、見通しがきかないところもある。駐輪場が設けられる通路もあるが、防犯対策が必要ではないか。

答 近隣住民などからも、通路部分の防犯対策の必要性が指摘されている。今後、地元や防犯関係者と協議しながら、ハード、ソフト両面から検討を進めていきたい。

決算審査特別委員会の委員が決まりました

9月16日の本会議で、平成19年度の予算執行における収入・支出が適正に行われたかを審査する「決算審査特別委員会」が設置され、19人の委員が選任されました。決算審査特別委員会は11月5日(水)～7日(金)に開催予定です。

- ◎委員長 ○副委員長
- | | | | | |
|--------|--------|-------|-------|-------|
| ◎矢野 一夫 | ○小坂井和夫 | 柁淵 俊久 | 中村 耕一 | 丸山 広司 |
| 加藤 尚登 | 山田 省吾 | 桑原 望 | 杉本 輝榮 | 大平美恵子 |
| 関 充夫 | 池田 彌 | 関 貴志 | 高野 正義 | 酒井 正春 |
| 水科 三郎 | 笠井 則雄 | | | |
| 小熊 正志 | 恩田 正夫 | | | |

会派別議案賛否一覧表

9月定例会での議決結果をお知らせします

9月定例会は、9月16日から10月1日までの16日間の会期で開かれました。

この定例会では、14人の議員が市政に対する一般質問を行いました。また、市長提出議案25件、議員提出議案4件、請願3件を審査し、それぞれ右表(会派別議案賛否一覧表)のとおり決まりました。

今号では、8月18日に開かれた8月臨時会の議決結果も掲載しました。

会派別所属議員

市民クラブ	小熊 正志 丸山 勝総 加藤 尚登 関 充夫 鈴木 正一 長谷川 一夫 長谷川 一夫 大地 正幸	酒井 正春 関 正史 丸山 広司 池田 彌 古川原 直人 松井 一男 高野 正義 矢野 一夫
民成クラブ	小坂井和夫 藤田 芳雄 恩田 正夫	杉本 輝榮 加藤 一康
無所属の会	西澤 信勝 桑原 望	大平美恵子
公明党	藤井 達徳 山田保一郎	中村 耕一
共産党市議団	笠井 則雄 細井 良雄	諸橋 虎雄
しんしクラブ	永井 亮一 柁淵 俊久	山田 省吾
新政クラブ	家老 洋 水科 三郎	
無所属	A 関 貴志 B 五十嵐清光	

9月定例会

議案	議案名 ()は所属議員数	会派名										議決結果						
		市民クラブ(16)	民成クラブ(5)	無所属の会(3)	公明党(3)	共産党市議団(3)	しんしクラブ(3)	新政クラブ(2)	無所属A	無所属B								
市長提出議案	補正予算	平成20年度長岡市一般会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
		平成20年度長岡市老人保健事業特別会計 ほか2件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	条制 定	長岡市まちなかホール条例	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		長岡市大規模集客施設制限地区内における建築物の制限等に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	一部改正	長岡市体育館条例 ほか6件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		市道路線の認定、変更及び廃止、長岡地域土地開発公社定款の一部変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
その他	契約の締結(和島小学校講堂新築工事) ほか3件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	財産の取得(ロータリ除雪車) ほか3件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	決算の認定(2件) (平成19年度一般会計・特別会計) (平成19年度水道事業会計・ガス事業会計)	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	継続審査*	
議員提出議案	意見書	新たな過疎対策法の制定に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		道路特定財源の一般財源化に伴う地方の道路予算確保に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	拉致事件早期解決のための北朝鮮に対する経済制裁措置の一部解除に関する意見書	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	燃料及び肥料、飼料等の農業資材価格高騰対策に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
請 願	介護労働者の処遇改善をはじめ介護保険制度の改善に関する請願	△	○	○	△	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続審査	
	燃料、肥料、飼料、農業資材等の価格高騰に対する緊急対策に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一部削除の申し出を承認し採択	
	燃料・肥料・飼料価格高騰対策に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採 択	

8月臨時会

市長提出議案	条例改正	長岡市議会の議員の報酬、費用弁償等に関する条例等	全議員賛成	原案可決
議員提出議案	その他	契約の締結(道路新設工事) 2件	全議員賛成	原案可決
議員提出議案	条例改正	長岡市議会会議規則	全議員賛成	原案可決

○：議案に対して賛成 △：議案に対して継続審査 ×：議案に対して反対
※決算の認定については、11月5～7日に開催予定の決算審査特別委員会において審査します。

会派異動のお知らせ

柁淵俊久議員は、9月1日付けで無所属からしんしクラブに所属しました。